

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	卒業研究		
英文授業科目名	Senior Thesis		
開講年度	2008年度	開講年次	4年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	8
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	E 全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
学部教育委員 橋本猛 学部教育委員 安藤芳晃	

【主題および達成目標】
今までは講義を聴き，演習や実験で電子工学科の諸科目を学習してきたが，これらの学力を基礎に，電子工学にかかわる諸問題を教員の指導のもとに学生自ら能動的に解き明かす科目である。これにより，問題解決の手法を修得するとともに基礎科目，専門科目に関する理解も深めることができる。

【前もって履修しておくべき科目】
卒業研究着手の条件を満足していること。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
4年の必修科目の単位を修得すれば卒業できる状態にあることが望ましい。

【教科書等】
指導教員の指示による。

【授業内容とその進め方】
各研究室の所属し，指導教員の指導のもとに研究を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】
1年間かけて行った卒業研究の結果をまとめた卒業論文と年度末に行われる卒業研究発表会（審査会）における結果をもとに可否を判定する。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

指導教員に尋ねること。

【学生へのメッセージ】

自己の実力を能動的に発揮でき、何のために何を学習しなければならないかが理解できるすばらしい科目である。諸君が就職する企業も卒業研究を高く評価している。

3年次の終わりの時期に研究室の配属調整が始まり、卒業研究を行う研究室が決定される。

【その他】